

令和6年度 「ハッピー♥スマイル」第1回開催報告

【日 時】 令和6年5月19日（日）13時～

【場 所】 浅口市健康福祉センター 2階ボランティア研修室

【参加者】 保護者13名 子ども7名 医師2名
救急救命士1名 養護教諭1名



1 開 会

2 講演 「アレルギーっ子の保護者の立場から」
～『アレルギーを治すことを目標に』
今、子育て中の保護者に伝えたいこと～

講師 大阪狭山市食物アレルギー・アトピーサークル 「Smile・Smile」
代表 田野成美様

○大阪狭山市食物アレルギー・アトピーサークル 「Smile・Smile」の紹介

平成16年8月に設立され、今年20周年を迎えます。子どもたちのアレルギー疾患に関する治療、成長、環境、社会自立、予防、啓発の取り組みをしているサークルです。「治す」という目標に向かって、毎月第一木曜日に定例会、電話相談、スキんケア教室などを行っています。

**アレルギーのある人も無い人も
楽しく豊かに生活していける環境を実現すること**

患児や患児保護者に向けて <ul style="list-style-type: none">電話相談、定例会日常生活の過ごし方の相談アレルギー講座スキンケア講座調理実習給食センター試食会 など	一般の方に向けて <ul style="list-style-type: none">啓発活動子育て講座親子ふれあいコンサートなど
様々な立場の方に向けて <ul style="list-style-type: none">シミュレーション動画の配信アレルギーフォーラムの開催地域イベントへの参加HPやブログでの様々な情報の発信学会や研究会にて発表、講演など	

正しい情報入手のために学会にも参加しています。

予防活動の中で、自分たちが困ったこと、こんなノートがあったらいいなを形にした2種類のノートを発行しました。

家庭での使用を目的とした「希望ノート」：想いや夢を描き治療意欲を高め希望をかなえられるようにと願いを込めています。「学校生活連絡ノート」：食や治療に関して学校と家庭で情報交換できる専用ノートで、学校と家庭をつなぎます。子供の湿疹やかゆみの対処・予防に役立てて欲しいという願いを込めて「かゆいの、かゆいのばいばーい」という絵本も作りました。昨年はこちらも中心のイベント「第1回こどもアレルギー学会」を開催しました。

○体験談

平成15年10月次女誕生。平成16年4月初めて粉ミルクを飲む。アナフィラキシーを起こし救急搬送され回復しました。そこで食物アレルギーだと診断されました。しかし、保護者も子どもが「食物アレルギー」だと診断されてもわからないことばかりの連続です。

どれが正しく、どれが間違いなのか、正しい情報はどこにあるのかわかりません。アレルギー疾患がある子どもの保護者は、不安ばかり悩みは減りません。解決しません。将来への期待より心配が先に来て、将来の夢を持たせることが切ない。

そこで目標を立てて頑張ることにしました。「ディズニーランドにソフトクリームを食べに行く。」目標を持ったことでいろんなことを受け入れられるようになり、治療に対する考えも、主治医の話も素直に聞けるようになりました。しかし、すべての異変をアレルギー症状と結びつけてしまうと、蕁麻疹や咳におびえる日々。かわいいはずの子どもを見ているより、アレルギー症状が出ていないか心配しながら子どもを見ているほうが多かったようです。

目標はアレルギーを治すことだが、なかなか治らない、先が見えない、不安だらけの日々を過ごしていました。そんな時、患者会先輩の経験談から、食物アレルギーの治療にはアトピー性皮膚炎、喘息、鼻炎、結膜炎の治療をしたら食べられるようになると教えてもらいました。しかし、うちの子にはあてはまらない、関係ないなあと思っていました。その後、学会に参加してもらい